

ねんど こうき
2018年度 後期

にほんご
日本語プログラム

りしゅうあんない
履修案内

とつとりだいがく
鳥取大学

こくさいこうりゅう
国際交流センター

もくじ
目次

2018年度後期 カレンダー	2
国際交流センター日本語プログラム概要	3
コース別履修案内	6
[I] 日本語集中研修コース	6
[Z] 全学共通科目「日本語・日本事情」	9
[J] 日本語・日本文化研修コース	11
[R] 研究のための日本語コース	13
[N] 総合日本語コース (“ここにこ” コース)	15
共通教育棟配置図	19

2018年度 後期 カレンダー

10月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

12月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

3月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月9日(金)

11月29日(木)・30日(金)

12月27日(木)～1月7日(月)

1月18日(金)

2月13日(水)・14日(木)

2月15日(金)～3月31日(日)

休講 (センター試験プレテスト準備)

第3クォーター予備日

冬季休業日 (冬休み)

休講 (センター試験準備)

第4クォーター予備日

春季休業日 (春休み)

国際交流センター 日本語プログラム概要

1. コース・科目の種類

鳥取大学国際交流センターでは、留学生のためのさまざまな日本語コースや開講科目を用意しています。それぞれの内容は、6ページからの「コース別履修案内」を見てください。

- [I] 日本語集中研修コース ⇒ 6ページ
- [Z] 全学共通科目「日本語・日本事情」 ⇒ 9ページ
- [J] 日本語・日本文化研修コース ⇒ 11ページ
- [R] 研究のための日本語コース ⇒ 13ページ
- [N] 総合日本語コース（“にこにこ”コース） ⇒ 15ページ

2. 受講できるコース・科目

まず、自分の身分を確認してください。上に挙げたコース・科目の中で、以下のものを受講することができます。

身分	必修	単位認定	出席可能
① 大使館推薦の国費研究留学生	[I]		
② 教員研修留学生	[I]		
③ 学部生		[Z]	[R]
④ 大学院生			[R], [N]
⑤ 特別聴講学生（短期交換留学生）		[Z]	[R], [N]
⑥ 日本語・日本文化研修生	[J]	[Z]	[R], [N]
⑦ 研究生			[R], [N]
⑧ (⑤, ⑥以外の) 科目等履修生, 聴講生			[R], [N]

※ただし、日本語のレベルや他の条件によって、他のコースや科目を受けられることがあります。

[R] 研究のための日本語コースは、日本語で研究発表や論文作成を行う留学生を対象とします。

3. 授業

(1) 学期

1年を2学期に分けます。前期は、4月1日から9月30日までで、後期は、10月1日から翌年3月31日までです。

(2) 授業時間

授業時間は、次のとおりです。

時限	授業時間
1時限	午前 8:45 - 10:15
2時限	午前 10:30 - 12:00
3時限	午後 1:00 - 2:30
4時限	午後 2:45 - 4:15
5時限	午後 4:30 - 6:00

(3) 休講

- ・鳥取県鳥取地区(医学部学生については、鳥取県米子地区)に気象警報が発令され、午前7時までに解除されないときは、午前中(1時限と2時限)の授業を休講にして、後日に補講をおこないます。
- ・鳥取県鳥取地区(医学部学生については、鳥取県米子地区)に気象警報が発令され、午前11時までに解除されないときは、午後(3時限と4時限、5時限)の授業を休講にして、後日に補講をおこないます。
- ・それ以外の休講は、その都度お知らせします。

(4) 掲示

授業に関するその他の連絡は、国際交流センター室(共通教育棟1階)の掲示板和、国際交流センターのWebページ(<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>)でお知らせしますので、毎日見るようにしてください。

4. 国際交流センターの教員

国際交流センターには、以下の教員がいます。日本語の学習や大学生活のことなどについて相談したいことがあったら、気軽に訪ねてください。

国際交流センターは、共通教育棟の1階にあります。

	氏名	メールアドレス
国際交流センター長	安延 久美	yasunobu@tottori-u.ac.jp
副センター長・教授	安藤 孝之	andota@tottori-u.ac.jp
副センター長・教授	池田 玲子	orikeda@tottori-u.ac.jp
副センター長・准教授	竹田 洋志	h-takeda@tottori-u.ac.jp
准教授	ダニャチェウ アキログ	aklog@tottori-u.ac.jp
准教授	御館 久里恵	otachik@tottori-u.ac.jp
准教授	ロクサナ パラダ	roxana113@tottori-u.ac.jp

コース別履修案内

Ⅰ 日本語集中研修コース

(1) 対象・目的

大使館推薦の国費留学生（研究留学生，教員研修留学生）等を対象に，大学院等への進学や教員研修の前の半年間，生活や修学のために必要な日本語教育を集中的に行い，基本的な自己表現やコミュニケーションが行えるようにします。

(2) 教員

池田玲子：日本語総合演習，漢字と文章，日本事情

御館久里恵：基礎日本語，日本事情

ダニャチュウ アキログ：日本語とコンピュータ，日本事情

ロクサナ パラダ：日本事情，日本語とコンピュータ

安藤孝之：日本事情

竹田洋志：日本事情

おおしま 大島いずみ：基礎日本語，漢字と文章

なかがわゆか 中川祐香：基礎日本語

(3) 時間割

	月	火	水	木	金
1 08:45-10:15	基礎日本語 B3 コラボ	漢字と文章 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	漢字と文章 B3 コラボ
2 10:30-12:00	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ
3 13:00-14:30	日本語 総合演習 B3 コラボ	基礎日本語 B3 コラボ	日本語と コンピュータ B3 コラボ		基礎日本語 B3 コラボ
4 14:45-16:15					日本事情 B3 コラボ
5					

(4) 授業内容・教材

<基礎日本語>

オリジナルテキスト『にほんご にこにこ』や教師の作成する教材を使って、身近なトピックをもとに、必要な表現を身につけながら、日本語での基本的なコミュニケーションができるようにします。

<漢字と文章>

テキスト『みんなの日本語初級 I 漢字(英語版)』(スリーエーネットワーク発行)に沿って漢字の基礎を学んだり、生活や専門の学習で目にする漢字を取りあげたりすることにより、理解できる漢字の数を増やし、少しずつ長めの文章の読み書きができるようにします。

<日本語総合演習>

既習事項を整理して運用したり、各学習者の課題を解決したりします。

<日本語とコンピュータ>

コンピュータの基本的操作、入力を日本語で行い、研究活動に役立てられるようにします。

<日本事情>

留学生が日本で生活をする上で必要な日本のさまざまな事情を取りあげ、知識を深め、考察を交わします。

(5) 試験・評価

ミニクイズや中間テストの成績と、修了発表、出席率、授業内での活動などから、総合的に評価をします。

(6)主な予定

10/5(金)	開講式・コースガイダンス
10/9(火)	授業開始
11/7(水)	木曜日の授業
11/8(木)	金曜日の授業
11/9(金)	休講
11/20(火)	木曜日の授業
11/22(木)	金曜日の授業
11/29(木)・30(金)	第3クォーター予備日
12/25(火)	月曜日の授業
12/26(水)～1/7(月)	冬季休業日(冬休み)
1/16(水)	木曜日の授業
1/17(木)	金曜日の授業
1/18(金)	休講
2/12(火)	月曜日の授業
2/13(水)	修了発表
3月下旬	閉講式

※その他の行事等については、随時お知らせします。

[Z] 全学共通科目「日本語・日本事情」

(1) 対象・目的

学部正規生、日本語・日本文化研修生等を対象として開設される科目です。これらはすべて、学部の単位として取得可能です。日本語科目では、各学部での学習が円滑に行えるよう、アカデミックなスキルの向上を図ります。「日本文化事情」「日本社会事情」では、各分野の専門教員による講義など、幅広い観点から日本の事情を理解することができます。「日本のIT事情」では、コンピュータの基本的操作、入力を日本語で行い、研究活動に役立てられるようにします。

(2) 教員

日本語の表現技法Ⅱ、学部留学生のための日本語Ⅱ : 池田玲子
 日本語実践Ⅱ : 御館久里恵
 日本文化事情Ⅱ : 安藤孝之
 日本社会事情Ⅱ : ダニャチュウ アキログ 他
 日本のIT事情 : 竹田洋志, ダニャチュウ・アキログ

(3) 時間割・教室

	月	火	水	木	金
1					
2 10:30-12:00		日本のIT事情 C41	日本文化事情Ⅱ C41		
3 13:00-14:30	日本社会事情Ⅱ C41			学部留学生の ための日本語Ⅱ B32	
4 14:45-16:15	日本語実践Ⅱ C41		日本語の 表現技法Ⅱ C41		
5					

(4) 授業内容・教材

『全学共通科目 履修案内』19-20, 81 ページや、鳥取大学学務支援システムのWeb版シラバスを参照してください。

http://syllabus.adm.tottori-u.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on

(5)登録

学部留学生は、自分の所属学部の卒業要件を満たすように履修計画を立て、各学部で履修手続きを行ってください。

単位数は、「日本語」科目が1科目1単位、「日本事情」科目が1科目2単位です。

学部留学生は、「日本事情」科目で履修した単位のうち、8単位までを教養科目に、「日本語」科目で履修した単位のうち、6単位までを外国語科目に振り替えることができますが、合わせて12単位を超えることはできません。(『全学共通科目履修案内』44ページを参照してください。)

日本語・日本文化研修生や特別聴講学生も、所属学部で手続きをしてください。

なお、「学部留学生のための日本語Ⅱ」は、正規学部留学生のみを対象に開講します。

(6)試験・評価

シラバスを参照してください。

(7)主な予定

日程は、全学共通科目の学年暦にそっています。

10/1(月)	授業開始
11/7(水)	金曜日の授業
11/9(金)	休講
11/20(火)	水曜日の授業
11/21(水)	金曜日の授業
11/29(木)・30(金)	第3クォーター予備日
12/25(火)	月曜日の授業
12/27(木)～1/7(月)	冬季休業日(冬休み)
1/16(水)	金曜日の授業
1/18(金)	休講
2/5(火)～12(火)	定期試験
2/12(火)	月曜日の授業
2/13(水)・14(木)	第4クォーター予備日

[J] 日本語・日本文化研修コース

(1) 対象・目的・授業内容

日本語・日本文化研修生を対象に開設されるコースです。「専門日本語」では、様々なテーマについて意見の表明が日本語で円滑に行えるようにします。

(2) 教員

専門日本語： 池田玲子

(3) 時間割・教室

	月	火	水	木	金
1					
2					
3 13:00-14:30				専門日本語 B32	
4					
5					

(4) 教材

教員が教材を作成し、配布します。

(5) 登録

受講届に、受講したい科目を書き、指導教員の印鑑をもらって、10月26日(金)までに国際交流課に提出してください。

*日本語・日本文化研修生は、国際交流センターで開設している上記の科目の他に、全学共通科目「日本語」と「日本事情」([Z]コース, p9-10)を受講します。また、その他の全学共通科目や地域学部の授業を選択科目として受講できます。これらの授業の登録は、地域学部でおこなってください。

(6) 試験・評価

授業への参加態度と、レポートと発表により評価します。

成績と出席率が共に60%以上の人には、修了証を発行します。

(7) おも よてい 主な予定

10/4(木)

じゅぎょう かいし
授業開始

10/5(金)

かいこうしき
開講式

10/26(金)

じゅこうとどけ
受講届しめきり

11/29(木)

だい よび
第3クォーター予備日

12/27(木)~1/7(月)

とうきゅうぎょう び ふゆやす
冬季休業日 (冬休み)

1/31(木)

じゅぎょう しゅうりょう
授業終了

[R] ^{けんきゅう} 研究のための日本語コース

(1) ^{たいしやう} 対象・^{もくてき} 目的・^{じゆぎやうないやう} 授業内容

日本語で論文作成や研究発表を行う必要のある留学生を対象に開設されるコースです。「論文演習」では、日本語によるレポートや論文の作成方法を学びます。「応用日本語演習」では、情報の収集や調査、およびプレゼンテーションの方法を学びます。

(2) ^{きやういん} 教員

^{ろんぶんえんしゆ} 論文演習：^{いけだれいこ} 池田玲子

^{おうやうにほんごえんしゆ} 応用日本語演習：^{なかがわゆか} 中川祐香

(3) ^{じかんわり} 時間割・^{きやうしつ} 教室

	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金
1					
2					
3					
4 14:45-16:15					^{おうやうにほんごえんしゆ} 応用日本語演習 B2 コラボ
5 16:30-18:00		^{ろんぶんえんしゆ} 論文演習 B2 コラボ			

(4) ^{きやうざい} 教材

^{ろんぶんえんしゆ} 論文演習：^{きやういん} 教員が^{ないやう} 内容に合わせた^{きやうざい} 教材を作成し、^{はいふ} 配布します。

^{おうやうにほんごえんしゆ} 応用日本語演習：『^{にほんごそうごうえんしゆ} トピックによる日本語総合演習』(スリーエーネットワーク発行)

(5) ^{とうろく} 登録

^{じゆこうとどけ} 受講届に、^{じゆこう} 受講したい^{かもく} 科目を書き、^{しどうきやういん} 指導教員の^{いんかん} 印鑑をもらって、^{がつ} 10月^{にち} 26日(金)までに^{こくさい} 国際交流課に^{ていしゆつ} 提出してください。

(6) ^{しけん} 試験・^{ひやうか} 評価

^{はつひやう} 発表と^{ひやうか} レポートにより^{ひやうか} 評価します。^{せいせき} 成績と^{しゆつせきりつ} 出席率が共に^{いじやう} 60%以上^{ひと} の人には、^{しゆりやうしやう} 修了証を^{はつごう} 発行します。

(7) ^{おも}主な^{よてい}予定

10/9(火) ^か	授業開始 ^{じゅぎょうかいし}
10/26(金) ^{きん}	受講届しめきり ^{じゅこうとどけ}
11/8(木) ^{もく}	「応用日本語演習」実施 ^{おうにほんごえんしゅうじっし}
11/9(金) ^{きん}	休講 ^{きゅうこう}
11/20(火) ^か	水曜日の授業 ^{すいようびじゅぎょう}
11/22(木) ^{もく}	「応用日本語演習」実施 ^{おうにほんごえんしゅうじっし}
11/30(金) ^{きん}	第3クォーター予備日 ^{だい3くわーたーよびび}
12/25(火) ^か	月曜日の授業 ^{げつようびじゅぎょう}
12/27(木) ^{もく} ～1/7(月) ^{げつ}	冬季休業日(冬休み) ^{とうききゅうぎょうびふゆやす}
1/17(木) ^{もく}	「応用日本語演習」実施 ^{おうにほんごえんしゅうじっし}
1/18(金) ^{きん}	休講 ^{きゅうこう}
2/1(金) ^{きん}	授業終了 ^{じゅぎょうしゅうりょう}

[N] 総合日本語コース (“ここにこ”コース)

(1) 対象・目的

大学院生や研究生等を対象に、生活や自己表現に必要な日本語や、研究活動に必要な日本語を、それぞれのレベルに合わせてレベルアップできるようにします。

鳥取地区	米子地区	
日本語A	初級	初めて日本語を学ぶ人
日本語B		日本語で簡単なやりとりができる人 (日本語を50-100時間程度学んだ人)
日本語C	中級1	日常生活での基本的なコミュニケーションが日本語でおこなえる人(日本語を200~300時間程度学んだ人)
日本語D	中級2	日本語での意志の疎通がおおよそできる人 (日本語を300時間以上学んだ人)
漢字ワークショップ		漢字を勉強したいすべての人

(2) 教員

鳥取地区

日本語A：伊藤邦子，大島いずみ

日本語B：伊藤邦子，村田佳寿子

日本語C：村田佳寿子，川口斐斐

日本語D：村田佳寿子，伊藤邦子

漢字ワークショップ：御館久里恵

米子地区

初級・中級1・中級2：土江加奈子

(3)時間割・教室

鳥取地区

	月	火	水	木	金
1 08:45-10:15	日本語B B2 コラボ	日本語B B2 コラボ	日本語B B2 コラボ		
	日本語D B32	日本語D B32	日本語D B32		
2					
3					
4 14:45-16:15		漢字ワーク ショップ 語学シャワー室			
5 16:30-18:00	日本語A B21	日本語A B21	日本語A B21	日本語A B21	
		日本語C A34	日本語C A34	日本語C A34	

米子地区

	水
1	
2 10:30-12:00	中級1 チュートリアル室
3 13:00-14:30	初級 チュートリアル室
4 14:45-16:15	中級2 チュートリアル室
5	

(4)授業内容・教材

鳥取地区

<日本語A>

オリジナルテキスト『にほんごにこにこ』のトピックをもとに、必要な表現を身につけながら、日本語での基本的なコミュニケーション能力を養います。

<日本語B>

テキスト『できる日本語 初級』(アルク発行)の後半をもとに、基本的な文型や表現を学び、より豊かなコミュニケーションができるようにします。また、『たのしい読みもの 55』(アルク発行)の前半を使い、短めの文章の読み書きにもとりくみます。

<日本語C>

テキスト『できる日本語 初中級』(アルク発行)にそって、これまでに身につけた表現と結びつけながら新たな表現を学び、よりの確に状況や心情を理解したり伝えたりできるようにします。また、『たのしい読みもの 55』(アルク発行)の後半を使い、まとまった長さの文章を読んだり書いたりできるようにします。

<日本語D>

テキスト『J Bridge』(凡人社発行)を使用し、各課のテーマに沿って、アクティビティ、話し合い、文法、読解、聴解、作文などをおこない、統合的な運用力の向上をはかります。また、作文の時間を週に1時間設け、決められたトピックについて自分の意見を的確にまとめられるように練習します。

<漢字ワークショップ>

自分に合ったテキストを選び、パートナーの日本人学生といっしょに自分のペースで漢字を学習します。(自分の漢字テキストを持っている人は、持ってきてください。)

米子地区

<初級>

テキスト『にほんご 45 じかん』(専門教育出版発行)を参考にし、必要な表現を身につけながら、日本語での基本的なコミュニケーション能力を養います。

<中級1>

テキスト『まるごと 日本のことばと文化 初中級』(三修社発行)を参考にしながら、研究室で必要となる会話を中心に、コミュニケーション能力の向上をはかります。

<中級2>

テキスト『みんなの日本語 中級 I』(スリーエーネットワーク 発行)を参考にしながら、研究室で必要となる会話を中心に、日本語を通して円滑な人間関係が形成できるよう、学習します。

(5)登録

受講届に、受講したい科目を書き、指導教員の印鑑をもらって、10月26日(金)までに国際交流課に提出してください。

(6)試験・評価

各クラスとも、試験と出席率で評価をします。試験の成績と出席率が共に60%以上の人には、修了証を発行します。

(7)主な予定

10/3(水)	コース説明会 (鳥取キャンパス)
10/9(火)	授業開始
10/26(金)	受講届しめきり
11/7(水)	休講 (鳥取キャンパス)
11/20(火)	水曜日の授業 (鳥取キャンパス)
11/21(水)	休講 (鳥取キャンパス)
11/29(木)	第3クォーター予備日
12/25(火)	月曜日の授業
12/27(木)~1/7(月)	冬季休業日 (冬休み)
1/16(水)	休講 (鳥取キャンパス)
1/29(火)~2/4(月)	定期試験
3/6, 13, 20(水)	春期授業 (米子キャンパス)

(8)その他

・「日本語B」「日本語C」「漢字ワークショップ」は、テキストを貸し出します。国際交流センターの教材ですから、直接書き込まないようにしてください。購入を希望する人は申し出てください。

・クラス移動は、コースが始まってから4週間以内で、担当講師が適当と認めた場合のみ可能とします。

・来日が遅れた場合、2か月以内でかつ日本語学習経験があれば受け付けますが、それ以降は次学期からの参加となります。

【4階】

E棟

